

# News of Peace No.16

桜区平和を考える会 2018年10月発行



## 今年も原爆絵画展を開催しました



桜区での原爆絵画展も5回目となりました。今年も、プラザウエスト1Fギャラリーにて8月23日（木）から3日間開催しました。展示内容は、絵画56点、写真30点、丸木美術館の「第十二部・とうろう流し」と「第十三部・米兵捕虜の死」の2点、溶けたガラス片6点・瓦9点などです。ここのところの

猛暑と台風の影響で昨年よりは少なくなりましたが、延べ241名（昨年は313名）の来場がありました。

小さな男の子二人を連れのお母さん、子どもの「爆弾ってなあに？」との質問に真剣に答えてました。また、「甲子園で8月15日の黙祷の意味を知らない子どもたちがいるんだよね」と話す年配の女性。今年も生の声をいろいろとお聞きすることができました。

鑑賞後に書いていただいたアンケートの中からいくつかの感想を紹介いたします。

- 子どもに見せたいです。
- 涙が止まりません。安倍首相に見せて下さい。
- 大変な作品ばかり。訴えるものがすさまじい。
- どの絵も悲惨な光景におどろばかりです。
- やはり声を上げて非核化を言っていきたい。
- 批判は多く出るかもしれないが、皮膚のただれた生の写真など過激なものであっても、次の時代につなげていくためにも必要だと思う。
- せんそうは、やだなと思いました。



また、来場者からのカンパの申し出があり、急遽カンパ箱を作成しました。今回は特に暑い中、絵画展のチラシの配布、会場受付にご協力いただきました皆さま、感謝と共にお疲れさまでした。来年もお盆明けに開催を予定していますので、引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。

## ◎沖縄の選挙で民意は示された！



沖縄県民は

**玉城デニー氏を知事に選んだ**

翁長雄志知事の急逝に伴い、9月30日に沖縄県知事選挙が実施されました。普天間基地の辺野古移設（辺野古新基地建設）に反対を主張して立候補した玉城デニーさんが、県民の圧倒的な支持を受けて当選しました。県民は、翁長氏が当選した前回知事選に続き、「辺野古移設」に明確なノーの意思を示しました。政府が全力を注いで応援したにもかかわらず、前宜野湾市長の佐喜真淳氏候補はデニー氏に8万票近い大差で敗れ去りました。

沖縄県民の民意は、デニー氏の言う「辺野古移設反対」に決定したのです。民主的選挙で「辺野古移設にNO」が突きつけられたのですから、政府は沖縄県民の民主的決定に従って、アメリカに対して「普天間基地の無条件変換」を要求して、辺野古新基地建設はすぐに中止するのが筋です。

**民意を無視する政府・安倍政権**

ところが、安倍晋三首相は「政府としては選挙の結果を真摯に受け止め、沖縄の振興、そして基地負担の軽減に努めていく」と述べるにとどまり、菅義偉官房長官は、「早期に辺野古移設と普天間飛行場の返還を実現したいという考え方に変わりはない」と強調し、移設工事を進める方針を示しました。またもや沖縄県民の意思を踏みにじろうというのです。また、小野寺防衛相は、沖縄県による辺野古の埋め立て承

認撤回への対応について、「沖縄防衛局が（撤回の）処分理

由の精査を行い、必要な法的措置をとる」と記者団に語り、沖縄県の辺野古工事差し止めを法廷闘争に持ち込みたい意向を示しました。しかし、数人の裁判官の判断で民意を覆す様なことがあれば、裁判所は政府の意向を追認するだけの機関ということが、いよいよはっきりすることになるでしょう。

沖縄は国政選挙でも、市長選挙でも、繰返し辺野古移設反対の選挙結果を示してきました。そのほかにも基地前の座り込みや、カヌーでの抗議行動など様々な方法で、基地建設反対を示して来ました。政府は、そのたびに無視し、県民の声を押しつぶして来ました。それでも県民は今回も反対の意思を示したのです。

**地方自治の否定は民主主義の否定**

今回、政府が「民主的な選挙によって辺野古移設は不可能になった」と率直に認めて、それに沿って行動をしなければ日本の民主主義の根幹が崩壊してしまいます。地方自治が否定されてしまいます。

政府が、沖縄の選択を踏みにじり、これまでどおりの政策を進めていくことを私たちが見逃すならば、地方からの異議申し立ては否定されることとなります。今回の選挙結果をどう扱うのかは、沖縄だけでなく私たちにとっても大切な問題です。



## ◎消費税

「安倍首相が10月15日の臨時閣議で消費税を2019年10月に10%へ引き上げる方針を正式表明した。首相は「全世代型社会保障改革」と財政健全化を両立させると強調。増税後の消費低迷への対策を講じるよう関係閣僚に指示した。」（東京新聞）

生活必需品から高級なぜいたく品まで一律に税を課す消費税は、公平を装っているが、実は不公平税制です。税金は所得に応じた税率で徴収するという税の原点を忘れて、ポイント還元なんかでごまかされないようにしましょう。まずは、1990年代49.98%→2014年度34.62%→2016年度29.97%と急激に下げてきた法人税を見直すことが必要です。法人税収は1989年に19.0兆円だったのが、2017年には12.4兆円に減り、これを補うより以上に消費税収は3.33兆円から17.1兆円になっています。この数値だけ見ても消費税を当面5%に戻せる事が分かります。ちなみに2017年に消費税増税時の約束の社会保障に使われたのはたった1.35兆円です。

## ◎東海第二原発の再稼働

「原子力規制委員会（以下「規制委」）は18日、日本原子力発電（以下「原電」）東海第二原子力発電所（茨城県東海村）の設備の詳細設計をまとめた「工事計画」を認可した。原電は工事計画の認可を踏まえ、延長運転の補正書を近く規制委に提出する。規制委は11月の定例会で延長運転の認可を議論する見通しだ。

東海第二原発は運転開始40年を迎える前日の11月27日までに全ての審査に合格しなければならない。再稼働は地元自治体の同意も必要となる。」

（日本経済新聞）

さいたま市からわずか100キロくらいしか離れていない東海第二原発。運転から40年が経過している老朽施設です。地震があったら、あるいは何らかのアクシデントがあったら緊急事態になる可能性があります。そうなると、風向き次第では、さいたま市は放射性物質で汚染されて避難が求められる区域（20マイクロシーベルト/時）になります。どうしても再稼働を止めることが必要です。

## ●上映会&学習会の報告

### ■「いのちの海 辺野古大浦湾」上映会

9月22日 大久保東公民館 13:30~14:45

8月8日翁長前知事が亡くなられ、沖縄では知事選真っ只中という状況での上映会でした。映画の終盤、昨年8月12日の集会で、翁長さんが沖縄の



言葉で「みなさん、負けてはなりませんよ。見下されてはいけませんよ。（闘いは）これからだよ」と訴える姿が印象的です。当日は「亡くなられた翁長さんを想い、どうしてもこの映画を観たかった」という方々が参加してくれました。それから約1週間後、玉城デニーさんが当選し、翁長さんの言葉は、よりいっそう重く感じられます。沖縄県民だけではなく、私たちへのメッセージとして聞こえてくるようです。

## ■「地球温暖化について」スタッフ学習会

9月22日 大久保公民館 15:00~16:00

担当スタッフが資料を用意して少し説明した後、それぞれが意見を述べました。温暖化による気候変動が言われているが、個人として省エネには気をつけていてもそれが本当に現在の状況の改善になるのだろうかという疑問や、CO2が温暖化の原因とされているがこれは間違った見方ではないか、経済成長を前提とした今の経済のあり方を変えていかない限り根本解決にならないのでは、などの意見がでました。

## 【会の活動報告】

### ◎駅頭活動

10月 2日 西浦和駅 憲法を生かす全国統一署名

10月17日 中浦和駅 東海第二原発の運転延長・再稼働反対署名

### ◎学習会

9月22日 「いのちの海・辺野古大浦湾」上映 大久保東公民館

9月22日 「地球温暖化について」スタッフ学習会

### ◎会議

9月 5日 第11回事務局会議 栄和公民館

9月22日 第12回運営スタッフ会議 大久保東公民館

10月 3日 第12回事務局会議 栄和公民館

## 【これからの予定】

10月21日 おしゃべりカフェ

『食』について考える一種子法廃止

11月18日 桜区市民講座 「種子法廃止について」(仮)

講師：安田節子さん

11月18日 第3回総会、第1回運営スタッフ会議



### 桜区平和を考える会発行

ホームページは、「桜区平和」で検索！

<http://spa.g1.xrea.com/>

連絡先：090-8588-4966 (今井) 090-4433-7092 (小高)

090-6120-3411 (佐藤)

振込口座：ゆうちょ銀行

口座番号：00270-8-104990

加入者名：桜区平和を考える会

年会費：1,000円

振込手数料はご負担ください

